

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	ユーフラテス・チグリス川流域の水資源と環境
主催者	国際連合環境計画国際環境技術センター、東京大学大学院新領域創成科学研究科国際協力学専攻、(独)科学技術振興機構、戦略的創造研究推進事業「水の循環モデリングと利用システム」、(独)日本学術振興会、人文・社会科学振興プロジェクト研究事業「水のグローバル・ガバナンス」
開催日	2007年12月 <input type="checkbox"/> 1日 <input checked="" type="checkbox"/> 2日 <input type="checkbox"/> 3日 <input type="checkbox"/> 4日 <input type="checkbox"/> 5日
開催時間	10:00～12:30
開催場所	<input checked="" type="checkbox"/> 別府市内 <input type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	大分県ニューライフプラザ「視聴覚室」
参加人数	25名
開催概要 (900字以内)	
<p>トルコ、シリア、イラクなどの中東諸国が共有する「ユーフラテス・チグリス川流域」では、古来より流域国間での確執が生じている。近年では、流域国による水資源の使用量が増大し、新たな係争の火種になることが懸念されている。更に、イラクでは戦禍からの復興に際して、水資源と水に関わる環境の保全と復元が最優先課題に挙げられている。</p> <p>本オープンイベントでは、ユーフラテス・チグリス川流域における水資源と環境について、内外の実務者と研究者が、以下の講演と質疑応答を通じて、その現状と将来への見通しについて語った。</p> <p>「イラク復興に向けた国連のイニシアティブ –UNEP イラク南部湿原環境管理支援プロジェクトの成果と教訓–」UNEP 技術・産業・経済局 国際環境技術センター イラクプロジェクトコーディネーター 青木千鶴</p> <p>「持続可能なチグリス・ユーフラテス川流域をめざして –イラクにおける現状と環境・水資源管理の優先事項」UNEP イラク湿原プロジェクト イラク国内コーディネーター アリ・アルラミ</p> <p>「ティグリス・ユーフラテス川における国際協調的水利用のためのイラク水需要分析」東京大学大学院新領域創成科学研究科 助教 田中幸夫</p> <p>「越境影響評価に関する事例研究からの教訓：ティグリス・ユーフラテス川流域への適用」東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 中山幹康</p>	



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

アジア・太平洋地域での水資源管理は、例えば乾燥地のそれとは大きく異なる局面がある。そのような地域に存在する機関として、今後も今回のような催しを継続的に開催する事で、アジア・太平洋地域での水資源管理に関する知識と知見の蓄積を推進して欲しい。

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

多くのオープンイベントが開催される日時であり、かつ同時通訳を付けない英語のみのセッションであった事などから、参加者数は限られていた。しかし、参加者は熱心に講演に聴き入り、かつ質疑応答も活発に行われるなど、開催する意義を十分に感じる事が出来た。

